

パチ法による首と腹と胸筋膜の解放

重要さの理由

首(C1、頸部筋膜)や胸部・腹部筋膜は小さな部分として捉えたのでは不十分な解放になる。音と、姿勢を用いる。

イスに座ることは、“姿勢を保つ反射を活発に働かせる”意味がある。

もうひとつ、首や胸部は術者の接近、接触に対して他の部位より感受性が豊かである。

したがって、グーのステップで強く押す必要はない。実は、接近するだけでも反応はある。

体幹の上部が首であり、下部が下腹部である、ともみられる。

そけい、坐骨筋膜の解放について別報したが、それを実施すると下腹部が取り残されることになる。膝痛、便秘がそけいなどの解放で解消したが、翌日似たような症状が起こっているとき、今度は下腹部である。

操作事例

ビデオのとおり、上腕パチ、または拍手パチの後、アゴをグーと引き上げる。グーの音を確認しながらである。

腹部は背部または腰部をタッチしながら押し上げる。あるいは横に押す。

胸部筋膜への拡張

首引きと同じポーズで、セカンドアクションのとき胸部筋膜をずらすように押す。とてもおおきなポーという音がする。しなければやっても意味がないとわかる。

